

廃棄物問題について

ダイオキシン類を発生させるボイラーへの規制を

清水 一昭議員

(新政みえ/鈴鹿市選出)

問

昨年、鈴鹿市内の業者から県に
対して、魚の養殖を目的として廃
プラスチックを燃料としたボイラー設置
の届け出がありました。周辺住民は、お
茶の産地でもあり、廃棄物の焼却が目的
であるとして反対し、ボイラーの設置・
操業の阻止を求め、県への要望書を提出
しています。



廃棄物処理を目的とし
た計画を認めることはで
きませんが、資源の有効
活用などから、廃プラ
チックなどを燃料として利用していくこ
とも必要と思います。

答

住民の健康を守るためや廃棄物の有効
利用のためにも、ダイオキシン類を発生
させるボイラーなどに規制が必要と思
いますが、県としての考えをお伺いし
ます。

ボイラーは、ダイオキシン類の
排出を規制する法律の対象になっ
ておらず、また、廃棄物を焼却する施設
ではないので廃棄物処理法の対象にもな
りません。

プラスチックなどを燃料として使用す
るボイラーについて、ダイオキシン類の
規制が必要であると考え、条例で規制で
きないか検討しており、環境審議会にも
諮っているところです。

今後、審議会の答申を受け、プラスチ
ックなどを燃料とする施設を対象に、ダ
イオキシン類の排出規制について、年度
内を目的に検討を行っていきます。

その他の質問事項
○ 幹線道路及び河川維持管理について 他

産業政策について

第二次戦略計画(仮称)における企業誘致
の方策は?

水谷 隆議員

(自民・無所属・公明議員団/旧員弁郡選出)

問

今回の景気拡大期間は58カ月と
なり、戦後最長を更新しましたが、
そのけん引役を担っているのは、中部圏
の製造業であると言われていました。

三重県でも、液晶、半導体関連産業へ
の大規模設備投資が相次ぎ、バレー構想
などの産業振興施策が実を結びつつある
のではないかと、高く評価しています。

平成18年第1回定例会で知事は「企業
誘致に係る補助制度については、競争力
が高い支援制度を、次期の戦略計画で検
討していく」と答弁されましたが、第二
次戦略計画(仮称)では、どのような制
度を組み立てようと考えているのか、現
在の検討状況をお聞かせください。

答

第一次戦略計画では、他府県に
先んじた企業誘致施策を講じたこと
とで、先端産業や研究開発施設の県内立
地が相次ぎ、県税収入などに成果が出て
います。

第二次戦略計画(仮称)
では、地域の特性に応じ
た誘致戦略として、県北
部では、知識集約型産業
構造への転換につながる
企業の誘致、県南部では、地域産業創出
につながる地域資源を活用した企業の誘
致を促進したいと考えています。

そのため、市町と連携した企業誘致の
推進計画の策定や企業誘致を促進する制
度の検討を進めています。

その他の質問事項
○ 農業政策について 他



いなべ市内の立地工場

市町村合併後の市町の支援について

合併市町へのバックアップを

福田慶一議員

(新政みえ/旧安芸郡選出)

問

平成の大合併は、市町村の行財
政基盤を強化する必要から、国が
強力に推進する中で進められ、本県では、
29市町に再編されたところです。

合併した市町においては、財政面から
の制約もある中、

合併前の各市町村
のサービス水準か
ら判断し、サービ
スの低下のないよ
う調整されている
と思いますが、住
民からは、合併前と合併後のサービスを
比較し、サービスが一部低下したと不満
が生じてきております。



みんなで考えよう
市町村合併

国とともに合併を推進してきた県とし
て、このような課題をどのようにとらえ
合併市町をいかに支援していくのかお伺
いします。

答

市町村合併は、行財政基盤の構
築などを進めるために、大きな効
果があると認識しています。

行政サービスの在り方は、関係市町村
が議論され、サービスの維持などに配慮
しながら、決定されたと考えています。
また、住民の意見を反映し、サービスの
実施に努めているところもあります。

県として、地域の課題をふまえた助言を
行うとともに、合併支援交付金の交付な
どを通じて、合併してよかったと思える
ような市町の取り組みを支援していき
たいと考えています。

その他の質問事項
○ 県政運営における危機管理について 他

「三重ブランド」真珠の振興と 合併漁協の現状と課題

真珠振興に取り組みための場づくりを

山本 教和議員

(自民・無所属・公明議員団/旧志摩郡選出)

問

近年の真珠業界は、漁場環境の
変化による大量へい死に加え、中
国の淡水真珠が低価格で大量に市場に出
回るなど、外国産の大玉
に押されています。

現在の真珠業界全体に
おけるアコヤ貝の割合は
30%と、5年前の半分に
落ち込んでいますが、高
品質な「三重ブランド」真珠の振興には、
養殖・加工・卸・デザイン・小売業とい
った真珠業界全体の協力体制が必要で
す。

来年は真円真珠発明100周年にあ
たり、業界が一体となって真珠振興に取
り組むための場づくりを支援してい
くべきと思いますが、県はどのような役割を
発揮すべきと考えているでしょうか。

答

県内産真珠は、主に加工業者が
通しており、共同組合などの系統組織に
よる共同販売への集荷率は90%と高まっ
ています。

しかし、出品される真珠の品質や数量
についての課題も多く、養殖業者と加工
業者などの関係業者間での情報交換など
を、さらに深めていく必要があります。

真珠養殖の関係者間での情報交換など、
県内の関係者が一体となり真珠振興に取
り組むための場づくりについては、真珠
養殖業者や関係団体の意見を聞きながら
検討していきます。

その他の質問事項
○ 県の観光政策について 他

真珠養殖漁場